

令和8年度 牧之原市立(菅山小)学校 学校評価

校長名

松本 治樹

1 昨年度の成果と課題

- 新しいことに取り組む姿が増えた。 ○よりよい活動をしようと企画・運営することが多くなった。
- 自分の考えをもち、具現化する意識が培われた。
- 発表して終わり、答えを出して終わり、授業や活動がその先へつながらない傾向がある。
- 考えが深まっていけない場面が見られる。
- 考えをもっていても大多数に流されることがある。

2 本年度の基本方針(経営の重点)

- ①学ぶことが楽しい、追求する楽しさを実感する授業づくりをめざす。
- ②発達支持的生徒指導が機能した居場所づくり、絆づくりを推進する。
- ③連携を深めることによる、地域に根ざした学校づくりをめざす。

3 具体的な取組

目 標	具体的な取組	成果目標	評価	成果と課題
①学ぶことが楽しい、追求する楽しさを実感する授業づくりをめざす。	○子供たちがやってみたくなる単元構想の充実を図る。 ○「伝える」が活性化する工夫を充実させる。	自分の考えを友達に伝えたいと思う 90% (児童)		
②発達支持的生徒指導が機能した居場所づくり、絆づくりを推進する。	○「まずはやってみよう！」と仲間と協力し、達成感を「伝え合える」場を作る。	自分には、よいところがある 90% (児童)		
③連携を深めることによる、地域に根ざした学校づくりをめざす。	○地域の人材や素材、自然等を活用し、ふるさとのよさを実感する教育活動、起郷家教育(アースランチ、命と防災等)の推進する。	地域の人に感謝している 90% (児童)		